

# 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業に係る実施方針（概要）

令和6年1月30日

## ● 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業に係る実施方針の位置付け等

- ✓ 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業（以下「実証事業」という。）を効果的かつ円滑に実施するため、事業実施に当たっての基本的な考え方や方向性等を整理したものとして、実施方針を示す。

## ● 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証

### ■ 実証の取組内容

- ✓ 各都道府県・市区町村の地域スポーツ推進体制等の下で、地域の実情に応じて、運動部活動の地域スポーツクラブ活動（以下「地域クラブ活動」という。）への移行に向けて多様な取組を実施。

<取組例>

- 体制整備
- 指導者の質の保障・量の確保
- 関係団体・分野との連携強化
- 面的・広域的な取組
- 内容の充実
- 参加費用負担支援等
- 学校施設の活用等

### ■ 実証において取り組むべき観点

- ✓ 実証は、以下の観点に十分留意して実施。
  - ① 地域の実情等に応じた多様な地域クラブ活動のモデル（収支構造を含む）の構築等
  - ② 地域クラブ活動の維持・運営に必要なコスト、受益者負担等と公的資金の適切なバランスの検証
  - ③ 経済的困窮世帯への参加費用負担支援の金額・スキームの検証
  - ④ 指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の量の確保に関する方策の検証
  - ⑤ 地域クラブ活動を支える人材育成や仕組みの整備
  - ⑥ 地域クラブ活動の要件等の明確化を図る方策の検証
  - ⑦ 全国的な取組の推進
    - 1) 実証事業を初めて実施する市区町村の取組
    - 2) 単一自治体での対応が困難な場合の市区町村を超えた取組
  - ⑧ 改革推進期間終了後を見据えた取組の推進

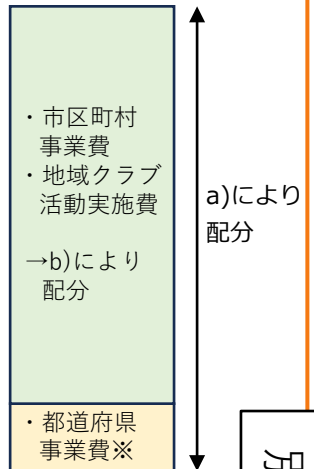
### ■ スポーツ庁から各都道府県への事業費の配分方法…a)

- ✓ 以下の基礎係数、傾斜配分係数、激変緩和係数等に基づき、スポーツ庁から各都道府県に対して事業費を配分
  - ・ 基礎係数：都道府県事業費※、市区町村事業費、地域クラブ活動実施費
  - ・ 傾斜配分係数：推進計画等策定状況、協議会等設置状況
  - ・ 執行状況係数：直近の実証事業の執行率
  - ・ 激変緩和係数：前年度の委託契約額 等

### ■ 各都道府県から市区町村への事業費の配分方法…b)

- ✓ 地域の実情に加えて、実証事業の趣旨や取り組むべき観点等を踏まえつつ、予算を効果的・効率的に使用する観点から、都道府県が市区町村に対して事業費を配分。特に以下の取組には優先的に事業費を配分。
  - ・ 地域クラブ活動のモデルの構築や検証に資する取組 →特に左記の観点①、②、③に優先的に配分
  - ・ 全国的な取組の推進に資する取組 →特に左記の観点⑦1)、2)に優先的に配分

- ※ 都道府県事業費として以下の取組等を想定した一定額を配分
  - 総括コーディネーターの配置
  - 協議会等の設置・運営
  - 市区町村への支援、実証事業の成果の検証・普及
  - 平日・休日の一貫指導（市区町村へ再委託分）



# 重点地域における政策課題への対応

## 重点地域において取り組むべき政策課題

- ✓ 重点地域への指定を希望する都道府県は以下の10の政策課題から少なくとも3つを選択。

### ◆ 課題①：多様なスポーツ体験の機会の提供

- 特定の種目や分野に継続的に専念するのではなく、多様なスポーツを体験する機会を提供する地域クラブ活動
- 競技・大会志向と楽しみ志向に応じたプログラムなど、生徒の志向や体力等に応じた地域クラブ活動
- シーズン制や複数の種目を掛け持ちできる地域クラブ活動
- 生徒の多様な選択肢を確保する観点から、複数の市区町村の生徒が参加できる幅広い競技種目やプログラムを提供する地域クラブ活動。

### ◆ 課題②：高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組

- 中学生と高校生と一緒に活動
- スポーツ少年団と連携し、小学生と中学生と一緒に活動
- 総合型地域スポーツクラブと連携し、小学生から社会人まで幅広い世代と一緒に活動

### ◆ 課題③：スクールバスの活用や地域公共交通との連携

- 地域公共交通の維持・活性化に関する取組との連携
- 鉄道の運行ダイヤに合わせて地域クラブ活動を計画して鉄道を移動手段として活用
- 民間路線バスのダイヤ変更の調整や運賃の一部補助
- スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス、コミュニティバス、他の施設の送迎車両等を活用

### ◆ 課題④：不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割

- 年齢や障害の有無を問わずに一緒に楽しめるプログラムを実施
- 幅広い層が参加できるイベント型のプログラムなど不登校の子供たちも参加しやすく工夫した地域クラブ活動

### ◆ 課題⑤：トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり

- 地域の医療人材やトレーナー等が参画する地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備
- 地域クラブ活動における外傷や障害、事故防止のための研修プログラムの整備

### ◆ 課題⑥：体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用

- 体育・スポーツ系の大学生をアシスタントの指導者として活用
- アスリート人材による指導機会の創出

### ◆ 課題⑦：学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツの活動拠点づくり

- 学校体育施設の管理運営の指定管理者制度や業務管理委託の導入、指定管理者や受託者が地域クラブ活動の運営団体・実施主体となった取組の展開
- 社会体育施設の指定管理者が地域クラブ活動の運営団体・実施主体となった取組の展開

### ◆ 課題⑧：企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用

- 企業版ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディングの活用
- 法人の賛助会員の募集、寄付等を活用した基金の創設
- 成果連動型民間委託契約方式（PFS: Pay For Success）やソーシャルインパクトボンド（SIB）の活用

### ◆ 課題⑨：動画コンテンツ等の活用

- 専門的指導者が指導する日と動画コンテンツを活用して反復練習など自主的に活動する日を組み合わせた活動
- リモートによる指導と動画コンテンツを組み合わせた指導

### ◆ 課題⑩：多様なニーズに対応した大会の開催

- 地域クラブ活動に参加する生徒の成果発表の機会として、スポーツを楽しむことや他の生徒との交流を深めることを目的とした大会を開催
- より多くの生徒の参加機会を確保するため、トーナメント方式ではなく、リーグ形式で大会を開催
- 参加者のレベルを考慮し、所属学校・チームに関係なく参加者を振り分け即席のチームを編成し、大会を実施
- 多くの生徒が参加し楽しむことができるように、選手交代の回数制限をなくした大会や男女混合の大会、リターン回数を変更した大会など、既存のルールを変更した大会を実施。

- ✓ 重点地域の選定に当たっては、本事業において取り組む政策課題に偏りが生じないように、採点方法や採択方法を工夫。

## 重点地域の選定基準

- ✓ 重点地域への指定を希望する都道府県を選定する際の基準は以下のとおり。
  - 各都道府県による直近の取組状況
    - 推進計画・方針等の策定、推進体制の構築
    - 市区町村への支援、指導者の質の保障・量の確保に関する取組
    - スポーツ団体との連携、企業との連携
    - 調査・研究、普及・啓発
  - 各都道府県内の市区町村による直近の取組状況
    - 推進計画等策定市区町村の割合
    - 協議会等の設置市区町村の割合
    - 地域クラブ活動への移行予定部活動数の割合
  - 政策課題への対応に関する事業計画内容
    - 事業趣旨に沿った事業計画、地域の実情を踏まえた課題設定
    - 課題解決に向けて試行する取組の具体性、持続可能性
    - 課題解決に必要な連携体制の確保、専門家の協力体制
    - 市区町村や運営団体、地域クラブ活動の多様性
    - 成果普及や広報活動、事業効果を高めるための創意工夫